

県立小児保健医療センターをなくさないで ベッドを減らさないで～三日月知事は声を聴いてください

5歳の息子は24時間人工呼吸器管理をしています。息子は少し体調を崩すだけで生死をさまよいます。今まで、何度も小保で命を助けてもらいました。今までのように入院ができなくなると息子の命はどうなるのか。

私の子のような少しの病気で死んでしまう恐れがある子はどうすれば良いのでしょうか？満床ですぐに入院できないとなれば私の子の命はどうなるのですか？
すぐに入院が出来ないかもしれない恐怖を抱えてこれから生活を送らなければならないのでしょうか。

医療的ケア児を育てる親です。乳児の時から入退院を繰り返し、幾度となくお世話になっております。専門的な医療的ケアを必要としている子どもが入院となると受け入れ先がありません。専門性の高い病院の病床を減らすという滋賀県の考えは、不安でしかありません。

**小保は子どもの
「命づな」
ベッドは今でも
足りていない**

娘は気管切開をしており、人工呼吸器も使用しております。ベッドの空き待ちで何度か自宅待機しております。
どうか滋賀県立小児保健医療センターのベッドを減らさないよう強く要望致します。

娘は生まれつき障害をもっており未就園児でまだ幼いため、今後も利用する機会が必ずあるので、ベッド数削減は我が家にとって死活問題です。

気管切開で24時間人工呼吸器管理ケアをしています。脳性麻痺です。病床を減らされるととても大変で困ります。診てくれる病院は小児保健医療センターしかないのです。

今年娘が熱性けいれんで入院しました。退院した2週間後には病室も一杯になっていました。これ以上病床が減ると入院出来ないという事態にもなりかねません。健常の子より重症化しやすいんです。ベッドの数を減らさないでください。

子どもから目を離せない24時間の医療ケアで、親は慢性的な睡眠不足に陥っています。レスパイト（一時預かり）の利用で何とか生活を保っています。これまで「月1回希望」できたのが、「2ヶ月に1回希望」となり枠が狭まりました。「年2回しか希望が通らなかった」という声も聞きます。ベッド数が減ればさらに利用できなくなります。

声を
聴いて！



「病床は今でも足りていません」～入退院を繰り返す^{みおり}深織さんのお父さんの言葉～

「今も病床が足りているとは思えません。これ以上、病床が少なくなれば、もう不安しかありません。」そう話されるのは、鈴木基（もと）さんです。鈴木さんの長女、深織（みおり）さん（6歳）は、出生直後から心臓疾患や気管軟化症などで生命の危機に直面してきました。その度に、小児保健医療センターの懸命の治療で何度も危機を乗り越えてきました。深織さんは今も「入院は毎月1～2週間。少しのことで熱が出て、家で看るのがとても心配」な状態です。これまでも「すぐ入院を」とお願いしても「今日は難しいので明日に」と言われて、翌朝まで待つこともあり、今でも病床が不足しているのが実情だと話されています。入院が必要な時にすぐに入院できないことは、即、生命の危機に直結してしまうことになりかねません。



深織さんと鈴木基さん

滋賀県知事 三日月大造様

県立唯一の子ども病院
なくさないで！



ベッド削減(100床→60~80床)やめて！総合病院との統合で小児保健医療センターがなくなる！

県立小児保健医療センター(小保)をなくさないで

県立小児保健医療センター(守山市)は、県内唯一の小児専門病院です。県内で、子どもの命と健康を守る中心的役割を果たしています。年間、4万5千人の子どもが通院し、2万5千人の子どもが入院しています。県立総合病院と統合して、小保をなくし、病床数も減らすと聞き、私たちは病床数の維持を願って、県民の声を届け、署名を呼びかけてきました。心配の声は予想を超えて多く寄せられ、署名数も短期間にもかかわらず、おおぜいの方々が賛同され6,000筆をこえました。

この間、県・病院事業庁は説明会を行い、今年度中に統合計画をつくろうとしています。患者家族、関係者から不安の声が続出しています。しかし、県担当者は「決まっていない」「検討中」などと繰り返すだけです。もっと、当事者・家族の声を聴いてください。

今でも病床は足りていません。吸収合併して病床削減、病院機能を低下させるのでなく、小児保健医療センターはそのまま独立を維持し、病床は100床のまま、スタッフを増やすなど病院機能を強化すべきです。以上の趣旨から、次のことを要望します。

1. 小児保健医療センターを県立総合病院と統合するのではなく、小児保健医療センターのままで存続してください。
2. 小児保健医療センターの病床数を減らさず、100床を維持してください。

名 前	住 所

※個人情報は適切に管理し、署名提出以外の目的では使用しません

滋賀県立病院の未来を考える会
滋賀県立病院の未来を考える守山の会

事務局：〒520-0051 大津市梅林1-3-30(県労連内)
TEL 077-521-2536 FAX 077-521-2534 E-mail:kenmin.youkyu@gmail.com